くも合戦

かじき広報

題字　宇都宮町長

10月の人口・世帯
（63年10月1日現在）

総人口23,763人（＋27）	出生　20人
男　11,192人（＋16）	死亡　11人
女　12,571人（＋11）	転入　119人
世帯数 8,200　（＋14）	転出　101人

●（　）内は前月との比較●

仮屋馬場通線が開通

町が五十四年度から工事を進めていた「仮屋馬場通線」が完成し、十一月二日開通式が行われました。

開通式では、宇都宮町長が「市街地を東西に結ぶ幹線道路として、大きな役割を果たすものと期待されます」とあいさつした後、関係者がテープ・カットを行い、全面開通を祝いました。

仮屋馬場通線は、新生町から県道栗野・加治木線までを結び都市計画街路で、総延長は一千六百三十メートル、幅は十二メートル。安全のため、両サイドに二・五メートルの歩道が設けられており、また、五トン以上の大型車は通行禁止となっています。

町では、国道十号線バイパスの早期着工を悲願として、県・国に働きかけ、一日も早く実現してゆく予定です。

宇都宮町長らがテープ・カット（開通式は11月2日）

今月のページ

▷特集"財政を考える"2～3ページ　▷わが町の家計簿…4ページ
▷東京加治木会5ページ▷議会報告6ページ▷町民体育祭7ページ
▷町長と語る会8～9ページ▷まちのわだい10～11ページ▷カメラルポ12～13ページ▷スポーツ14ページ▷薬草・在宅医…15ページ

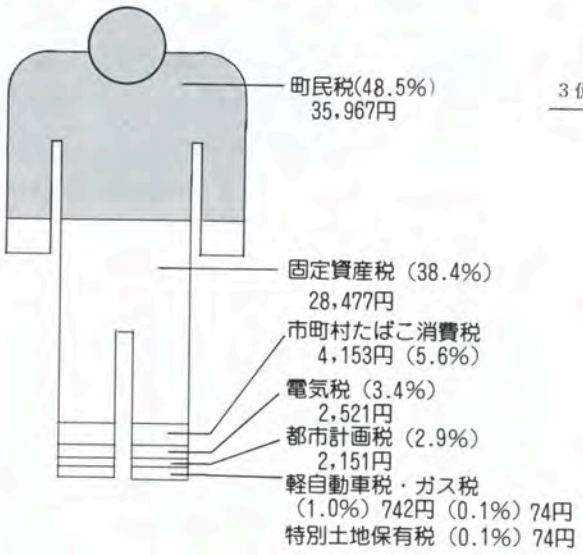
昭和63年
11月号

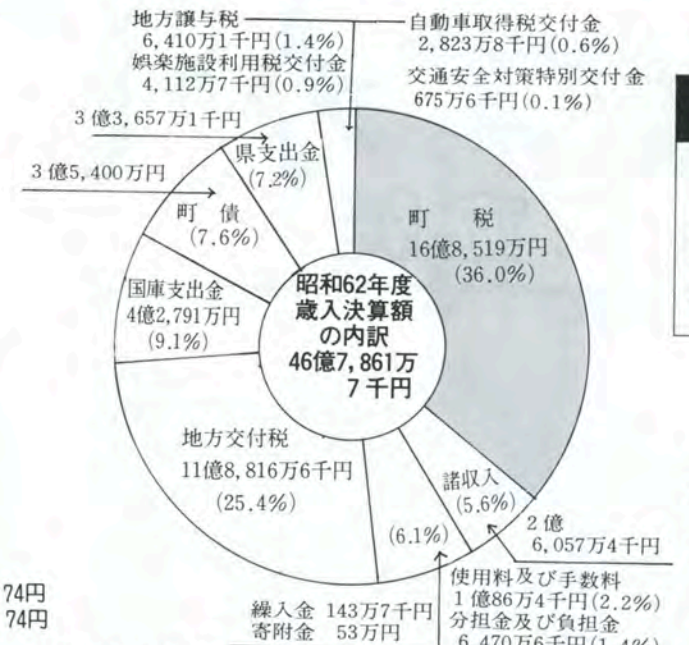
●No. 409　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62－2111●

特集 財政を考える

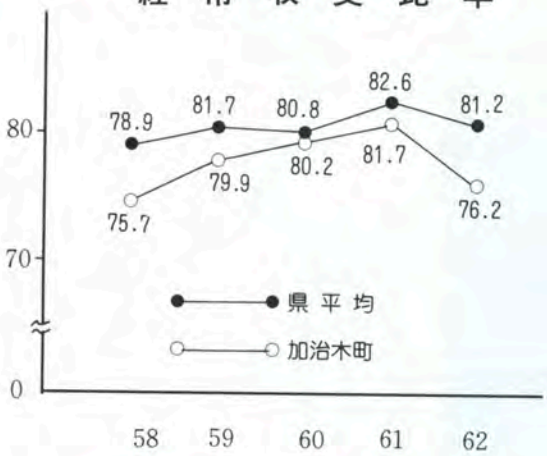
黒字ではあるが厳しい財政状況

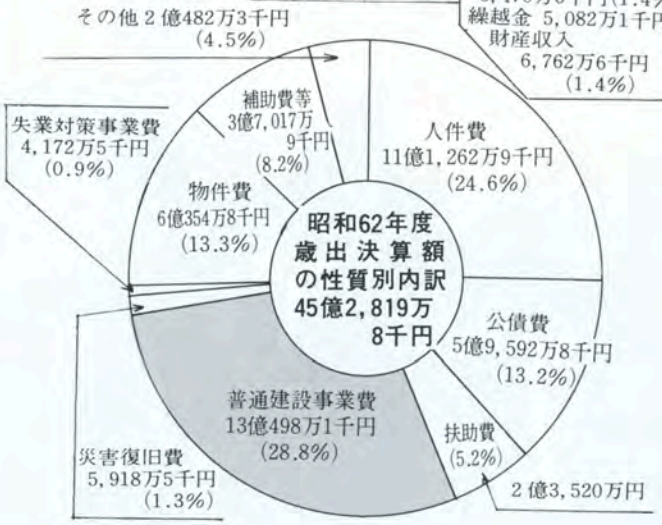
町民税1人当たり(74,159円)の内訳





経常収支比率





皆さんからいただいた税金は、予算にしたがって道路や排水などの環境整備、学校施設の整備などさまざまな事業に使われています。しかし、使いっぱなしというわけにはいきません。――前年度にいくらお金が入ってきて、何にどう使ったのかということをまとめなければなりません。これを〝決算〟といいます。

財務上の責任を明らかにし、後の財政運営の指針ともなる〝決算〟から、町の財政状況を見てみましょう。

町税は四割近く、徐々に財政力が向上

財政力指数■平均より上

加治木町は、住宅増や自然増により年々町税が増えています。

62年度の歳入に占める町税の割合は36・0パーセントです。

その自治体の財政力の強さを測るものさしが「財政力指数」です。

これは、町税など自治体の収入で標準的な必要経費をどこまで賄えるかを示すもので、数値が高いほど税収入があって、財政力があることになります。

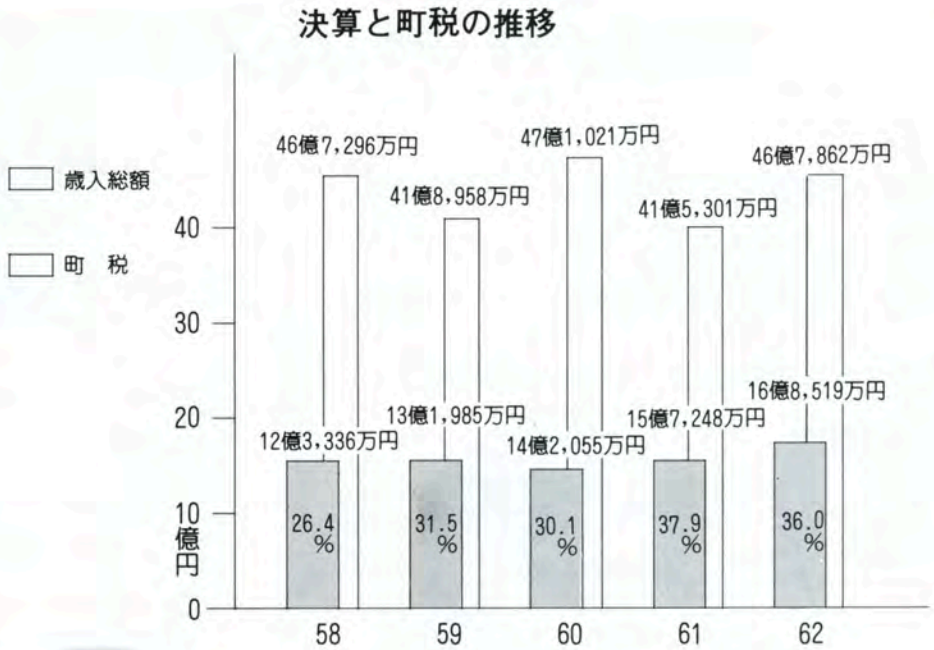
62年度決算での財政力指数は0・53。県平均は0・27(61年度)であり、加治木町は比較的恵まれているといえます。

しかし、町税などの一般財源だけでは、町を賄いきれないのが現状です。

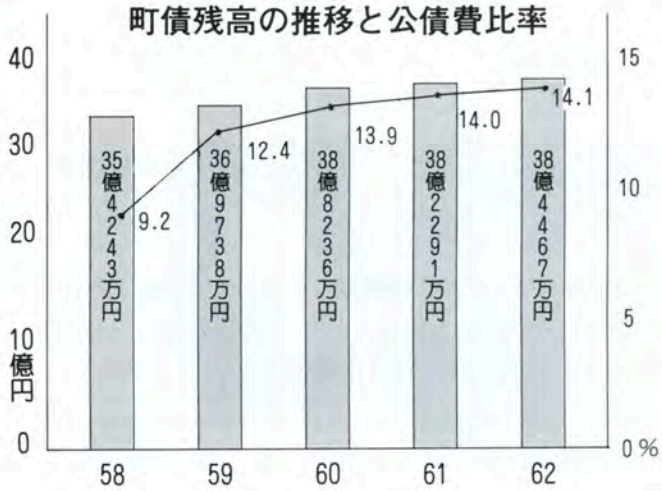
たとえば、62年度の竜門小学校校舎の増改築にかかった費用のうち、町の持ち出し(一般財源)は一千六百十一万円にすぎず、残りは、町債(町の借金)七千九十万円、国庫支出金五千二百十五万八千円を使っているのです。

竜門小学校校舎増改築費(1億3,916万8千円)の内訳

行政サービスを受ける



仮屋馬場通線



経常的経費●経常収支比率

歳出のうち、人件費や公債費など必要不可欠な経費を「経常的経費」といいます。

62年度決算では、歳出の43・0パーセントを経常的経費が占めています。

経常的経費が大きいと、建物や道路などの建設事業に回せるお金が少なくなり、財政に余裕がなくなることになります。

財政の弾力性を示す指数である「経常収支比率」は、80パーセントが健全財政の上限とされています。

加治木町は、61年度81・7パーセントで上昇しましたが、62年度は76・2パーセントと減少しています。

町債●公債費比率

町債とは、町道や学校施設などを整備するために、町が借金をすることです。

将来にわたって元金と利子を返していかなくてはならないので、財政を圧迫することになります。

前に紹介した竜門小学校校舎増改築で借りた借金は、二十五年かけて返済することになります。

しかし、こうした施設を整備することは、将来の町民も恩恵を受けることになり、限度を超えなければ活用すべきです。

その限度が「起債制限比率」で三年平均で20パーセントを超すと起債制限団体となります。

加治木町は、昭和62年度決算では12・6パーセントです。

なお、62年度までの過去に借りた町債の残高は三十八億四千四百六十六万七千円です。

最終決算●差額は翌年度へ

62年度は三十九億七千五百万円ではじまって、九回の補正を行い最終額は四十五億五千八百四十三万九千円となりました。

決算額は、歳入・四十六億七千八百六十一万七千円、歳出・四十五億二千八百十九万八千円となり差し引き額・一億五千四十一万九千円のうち七千六百万円は財政調整基金へ繰り入れ、七千四百四十一万九千円は63年度へ繰り越しました。

町民1人当たりに使われた町のお金
（62年度決算）

議会費	4,286円
総務費	25,732円
民生費	25,878円
衛生費	13,542円
労働費	2,842円
農林水産業費	20,930円
商工費	1,282円
土木費	34,651円
消防費	9,220円
教育費	32,070円
災害復旧費	2,605円
公債費	26,231円

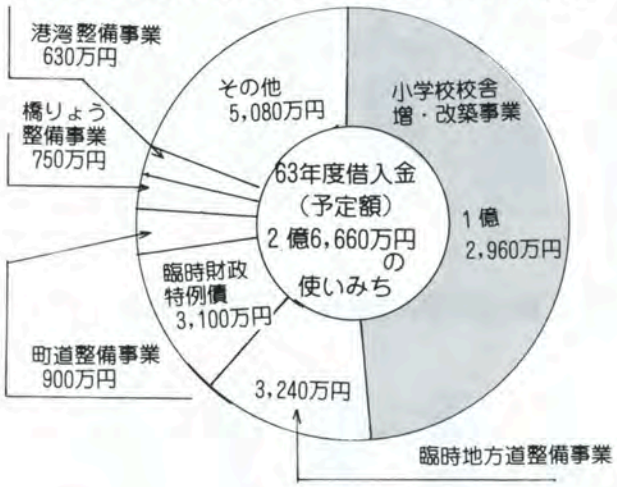
※決算（45億）を住民基本台帳人口22,724人で割ったもの。

63年度（4月～9月）わが町の家計簿公表

町民1人が背負っている町の借金	16万8,736円
町民1人が納める町の税金	7万1,819円
町民1人に使われる町のお金	18万7,064円

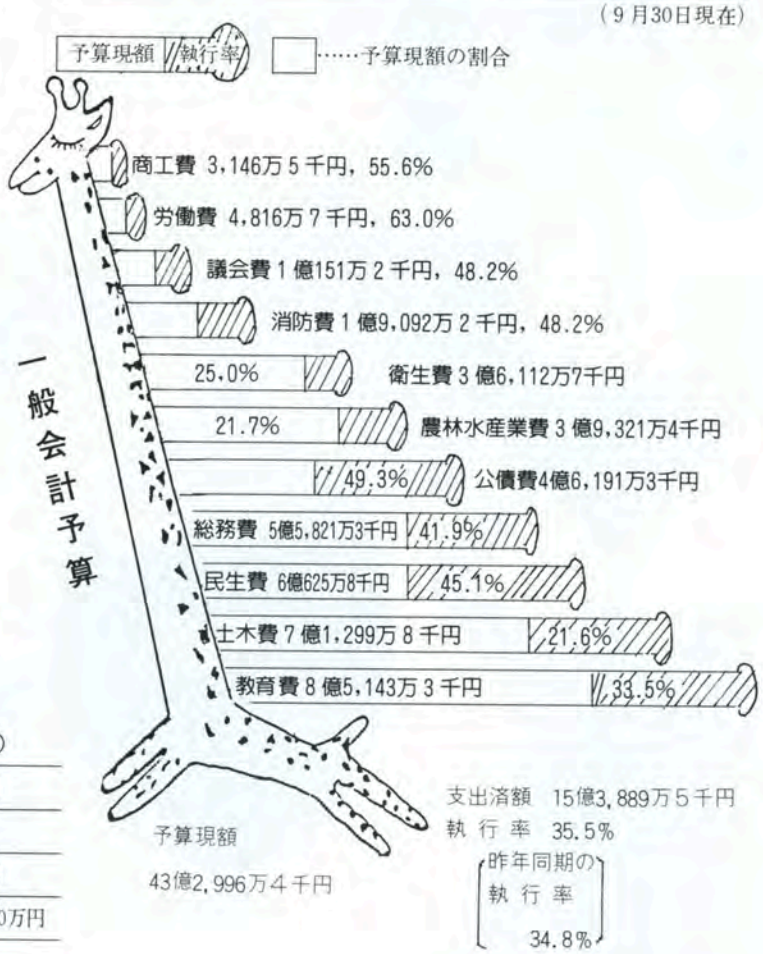
（住民基本台帳人口23,147人で割ったもの）

町の借金は39億573万7千円（63年度末残高見込み）



63年度4月～9月に使ったお金

（9月30日現在）



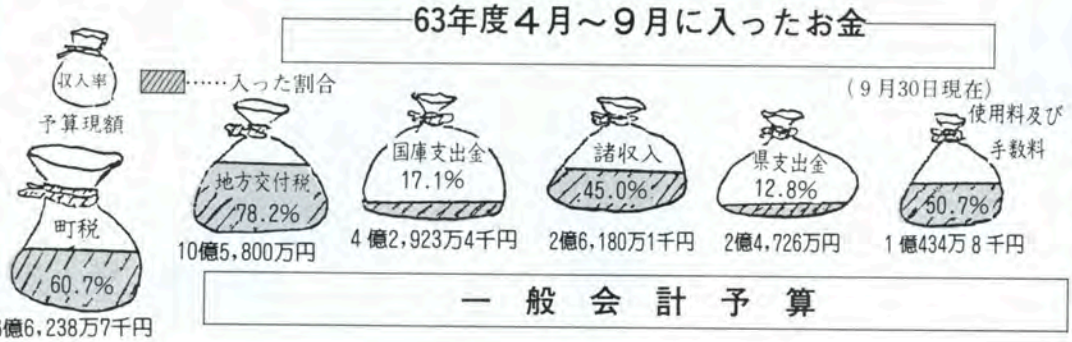
支出済額　15億3,889万5千円
執行率　35.5%
（昨年同期の執行率　34.8%）

63年度中の主な建設事業（9月末の契約率　46.7%）

▷特定交通安全施設整備事業 3,600万円▷木田本通線 9,800万円
▷仮屋馬場通線 4,400万円▷臨時地方道整備事業 3,600万円
▷塩入川河川改修事業 3,000万円▷橋りょう整備事業 3,000万円
▷農村地域農業構造改善事業2,499万2千円▷農村基盤総合整備事業4,040万円
▷柁城小学校校舎新増・改築事業2億8,007万5千円ほか。

63年度4月～9月に入ったお金

（9月30日現在）



一般会計予算現額
43億2,996万4千円
収入済額
22億7,769万円
収入率52.6%
（昨年同期の収入率　45.1%）

役場職員の異動

（　）内は旧課

〔十月一日付〕
総務課主幹（姶良地区滞納整理組合）　神園　進
姶良地区滞納整理組合へ出向（税務課）　湯川忠治

〔十一月一日付〕
総務課参事（福祉課長）猪目明▽収入役室出納係長（総務課主幹）神園　進▽企画課電算係長（収入役室出納係長）前畠利春▽企画課（税務課）室屋和孝▽税務課（水道課）原口政則▽収入役室（住民課）二見和彦

「公給領収証」を必ず受け取りましょう

みなさんが、料理店、バー、旅館、飲食店などで、遊興、飲食、宿泊、休憩などをされ、その料金を支払った場合には、店の経営者は、料金や料理飲食等消費税などを受け取ったことを証するために「公給領収証」を発行することになっています。

この公給領収証は、みなさんが支払った税金が正しく県に納められるために必要なものですから、支払いの際には必ず「公給領収証」を受け取りましょう。

ただし、税金がかからない場合（免税点以下）には、発行されないこともあります。

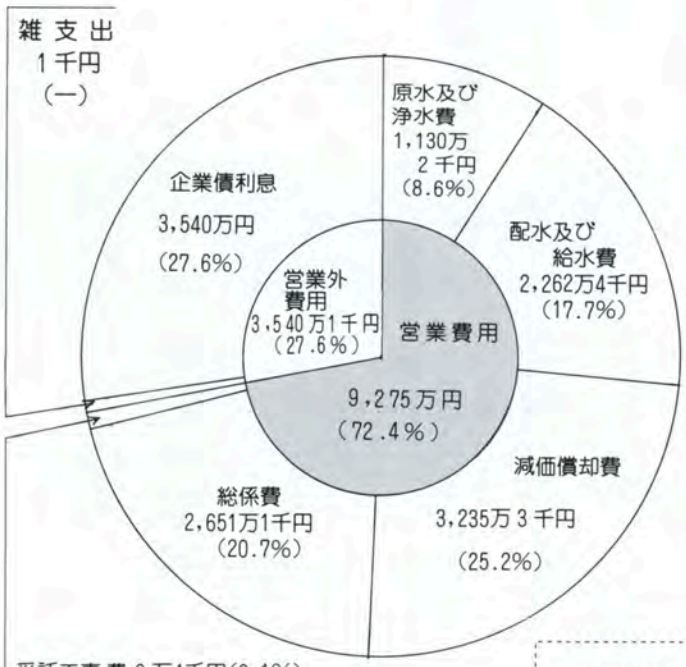
63年度上半期の給水収益は
一億四千六百七十四万八千円

水道事業

水道事業会計の上半期（四月から九月）の状況を見ると、水道事業収益が一億五千二百十五万一千円（昨年同期・一億四千八百四十六万九千円）で、水道事業費用は一億二千八百十五万一千円（昨年同期・一億三千九十三万二千円）となっています。

事業収益のうち、給水収益は一億四千六百七十四万八千円（昨年同期・一億四千三百七十二万二千円）で、収益の96・5パーセントを占めており、昨年同期と比べ三百二万六千円（2・1パーセント）増加しています。

▽水道事業費用（上半期）1億2,815万1千円



▷水道事業収益（上半期）
1億5,215万1千円

読者のページ

町長を囲んで楽しかった
東京加治木会総会

「東京加治木会」の総会が、今年も六十人余りが参加して十月二十三日、東京の三州倶楽部で開催されました。

東京にお住まいの壱岐健志氏から、その様子を伝えるお便りが届きましたので紹介します。

ありがとうございました。

東京加治木会（岸野吉会長）の総会が、秋晴れの十月二十三日、品川区の三州倶楽部に首都圏在住の約六十人が出席し、昨年に続いて宇都宮町長を囲んでふる里の現状やこれからの新しい町づくりについて、たっぷり伺い、楽しいひとときでした。

町長から最初に「多くの町民から、東京のみなさんへよろしく」との伝言が述べられました。次いで、町が整備を進めている龍門滝の上流にある二つの滝に新しく滝名がつけられたこと、県下で姶良郡だけが人口が増えている、などと報告されました。

特に、二十一世紀に向けて、これからの町づくり目標について「下水道整備」「教育施設の充実」「自然との親しみを深める」など具体的に説明があり、熱心な取り組み方に拍手がわきました。

最後に、東京――加治木といった壁を乗り越えて、住みよいふる里づくりに遠慮なく意見を出して欲しいと要望されました。

（於里出身　壱岐健志）

懐かしい顔がそろった総会

議会報告

六十二年度の決算を認定

第三回 町議会定例会

第三回町議会定例会は、九月二十二日から十月十八日までの二十七日間の会期で開催され、昭和六十二年度決算の認定や町乗合自動車に関する条例の一部改正など十六の議案と、諮問一件、意見案二件、決議案三件、請願一件、陳情一件を審議し、可決・採択しました。

また、町選挙管理委員会委員の選挙も行われました。

神園乗降所を設置

乗合自動車の条例を改正

「加治木町乗合自動車の設置、管理及び運行に関する条例」の一部改正が行われ、「辺川農協前」と「大宮路」の間、約一・二キロの中間に『神園乗降所』を設置することが決まりました。

町営プールを廃止

水もれやプールサイドの陥没など施設の老朽化が進み、安全確保が憂慮される〝町営プール〟を廃止する条例が可決されました。

また、同代理者に隈元義己氏を選出しました。

選挙管理委員会の委員を選挙

第三回町議会では、任期満了に伴う町選挙管理委員会委員の選挙が十月十八日の最終本会議で行われ、次のかたがたが選ばれました。

任期は、四年間です。

▽嶺元政範（上浜）
▽六反政雄（楠園）
▽隈元義己（茶碗屋）
▽小宮路東（辺川下）

◇　◇　◇

改選後初めての町選挙管理委員会は十一月七日、役場会議室で開かれ、委員長に嶺元政範氏を、また、一千四百十八万二千円（61年度・一千二百五万七千円）の当年度純利益をあげました。

また、改良工事は、既設老朽管の敷設替え一九七一メートルと、町民の財産と生命を守るため、消火栓四基を設置しました。

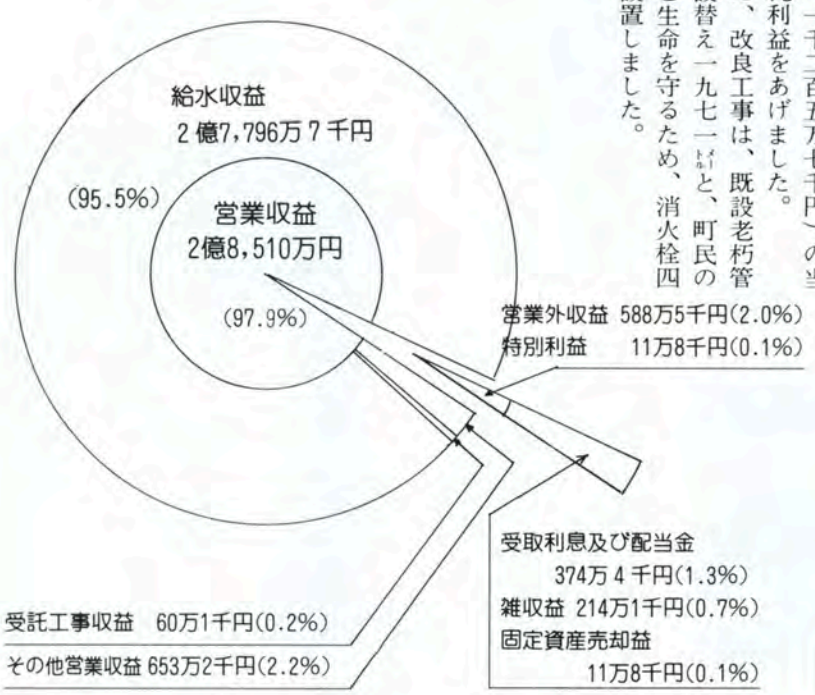
新しい町選挙管理委員会の委員

事業収益は 2億9,110万3千円

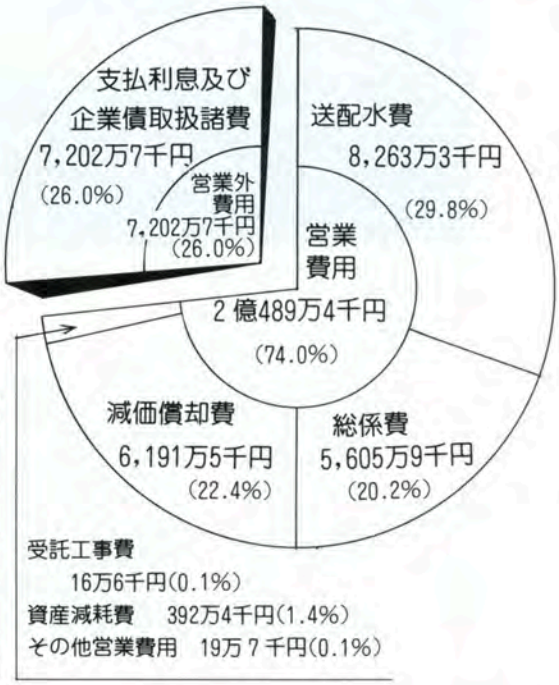
62年度水道事業決算

水道事業会計の決算額は、水道事業収益が二億九千百十万三千円（61年度・二億八千八百四十四万六千円）で、水道事業費用は二億七千六百九十二万一千円（61年度・二億七千六百三十八万九千円）となり、損益勘定では、

▽水道事業収益 2億9,110万3千円



▽水道事業費用 2億7,692万1千円



特別会計の決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	11億7,744万9千円	10億6,757万3千円	1億987万6千円
簡易水道事業	1,390万円	1,320万5千円	69万5千円
地域下水処理事業	2,952万8千円	2,725万8千円	227万円
老人保健医療事業	11億6,082万6千円	11億4,132万1千円	1,905万5千円
農林業労働者災害共済事業	159万1千円	137万1千円	22万円

竜門地区が優勝

第四十回町民体育祭

四十回目を迎えた町民体育祭は十月九日、秋晴れの下、おおぜいの町民が参加して、町営運動場で開催されました。

今年の体育祭では「鼓笛」や「ほろよい気分？」「親子リレー」などの新しい種目も取り入れられ、二十二の種目に、盛んな声援が沸いていました。

成績は、次のとおりです。

優勝　竜門地区　一三六点
二位　木田第三地区　一〇七点
三位　木田第二地区　一〇五点
四位　城北地区　九五点
五位　錦江第三地区　九三点
六位　錦江第二地区　八二点
七位　城東第一地区　八〇点
八位　城南地区　七八点
九位　木田第一地区　六四点
十位　永原地区　五八点
十一位　錦江第一地区　五四点
十二位　城西地区　五〇点
十三位　城東第二地区　三三点

町民体育祭　特別表彰者

（県民体育大会等の追加分）

▶中学生の部

白石真也（中央）〔種目〕陸上
■県中学校陸上競技大会　走り高跳び　3位

▶高校生の部

中村謙太　小烏（国立鹿児島工業高等専門学校）〔種目〕サッカー
■全国高等専門学校サッカー選手権大会　優勝

長谷修　柳田（国立鹿児島工業高等専門学校）〔種目〕サッカー
■全国高等専門学校サッカー選手権大会　優勝

黒田将治　岩原西（国立鹿児島工業高等専門学校）〔種目〕サッカー
■全国高等専門学校サッカー選手権大会　優勝

川畑直也　中塩入（加治木高等学校）〔種目〕水泳
■県高校学年別新人水泳大会　2年 200m バタフライ　3位

岡元かおり　江湖（加治木高等学校）〔種目〕水泳
■県高校学年別新人水泳大会　1年 400m リレー　3位

坂田健司　弥勒（加治木高等学校）〔種目〕水泳
■県高校学年別新人水泳大会　1年 100m・200m 平泳ぎ1位

▶一般の部

長丸雄二（東吉原）〔種目〕水泳
■県民体育大会　35歳代　50m 背泳ぎ　2位

前田妙子（田中）〔種目〕水泳
■県民体育大会　25歳以上　50m 自由型　2位

川田伸幸（萩原）〔種目〕陸上
■県民体育大会　40歳代男子　砲丸投げ　3位

片ノ坂健治（吉原）〔種目〕銃剣道
■県民体育大会　2位

北道万里子（下浜）〔種目〕テニス
■県民体育大会　3位

▶一般の部

日高隆志（新町）〔種目〕バレーボール
■県民体育大会　男子の部　優勝

片ノ坂雄治（下新道）〔種目〕バレーボール
■県民体育大会　男子の部　優勝

大宮路和也（辺川下）〔種目〕バレーボール
■県民体育大会　男子の部　優勝

内村浩二（市来原）〔種目〕バレーボール
■県民体育大会　男子の部　優勝

大迫尚敏（端山）〔種目〕軟式庭球
■県民体育大会　男子の部　2位

酒匂享一（下浜）〔種目〕軟式庭球
■県民体育大会　男子の部　2位

前木場順子（田中）〔種目〕軟式庭球
■県民体育大会　女子の部　優勝

楠元成美（中福良後）〔種目〕バスケットボール
■県民体育大会　女子の部　3位

桐原真智子（岩原西）〔種目〕バスケットボール
■県民体育大会　女子の部　3位

日高直美（伊部野）〔種目〕バスケットボール
■県民体育大会　女子の部　3位

▶一般（団体）の部

ジャガーズ〔種目〕軟式野球
■県民体育大会　3位

町長と語る会（木田第２地区．錦江第３地区．木田第１地区）

まちづくりのこと、暮らしのこと
町長とひざを交じえて話しました。

町民とのソフトな対話を進め〝お互いの知恵を出し合い、魅力ある町づくりを〟と「町長と語る会」が、七月五日から地区公民館単位で始まりました。

語る会では、道路のことや町づくりのこと、教育の問題、役場の窓口の開放のことなど、たくさんの御意見や御要望をいただきました。

今月は、木田第二地区（八月二十日）、錦江第三地区（八月二十七日）、木田第一地区（九月七日）で出された御意見の中から主なものをお伝えします。

道路など

高速道路の側道を広くできないか

高速道路の姶良町へ行く所の側道が狭くて危険です。広い道路を作ってもらえませんか。

＊　＊　＊

すばらしいアイデア…。姶良町とも相談してみたいと思います。

通学路の改良は

通学路となっている高井田保育園から宇曽ノ木川までの三百メートルあまりが狭くて危険です。改良はできませんか。

＊　＊　＊

この路線は、延長が長いため単年度では無理かと考えます。

今年、九月ごろから工事に着手したいと思います。

改良される通学路

舗装のやり直しを西ノ原の町道

西ノ原の町道は、つぎはぎだらけでデコボコが多く、雨の日などは水がはねて困っています。

舗装をやり直すことはできないのでしょうか。

＊　＊　＊

この路線については、これまでデコボコをふさぐなど逐次改修を進めています。

町道は二百九十七路線あり、危険なか所から改良を進めており、全面的な舗装のやり直しということについては、しばらく時間をいただきたいと思います。

自転車は押して春日橋（歩道橋）

春日橋（歩道橋）を自転車に乗ったまま渡る人がいるようですが…。

＊　＊　＊

春日橋は、歩行者専用であり、自転車は押して渡らなければなりません。その旨、表示もしていますが、看板が小さければ考えます。

その他

役場の窓口を日曜日にも開いて

日曜日にも住民課などの窓口を開いて欲しいのですが……。

＊　＊　＊

土曜日の午後や日曜日は日直を置き、死亡届等を受理しています。

広報紙を町外の町出身者に送りたいが

広報かじきを町外に住む〝町出身者〟に送りたいのですが……。

＊　＊　＊

申し出ていただければ送付します。しかし、部数に限りがありますので、御近所の町出身者同士で回覧して見ていただけたらと思います。

町づくりなど

木田の史跡を生かし文化のロードを

木田の用水路添いには厳屋寺や鴻巣園（こうのすえん）などの史跡がありますが、草ボウボウになっています。

史跡巡りの人も多いのですが、道路の改修はできませんか。

＊　＊　＊

この付近にはすばらしい所があり、桜の園やホタルをかったり、考えれば考えるほどいろいろな事ができる所です。文化のストックを遊ばせておく手はありません。

大きなプランニングを想定し、ぜひ、文化のロードを作りたいと考えます。皆さんの知恵も貸していただきたいと思います。

用水路添いにある薬師如来

「市制」への考えは

加治木町を「市」にもってゆく考えはないのか。

＊　＊　＊

まず、商工会が唱えていらっしゃる〝三万人体制〟にもってゆきたいと考えます。

空港関係や、新生町など、人口は毎年百四十～百五十人ぐらいずつ増えており、今、マンションも検討しています。まず三万人に、その暁には、市制への第一歩を踏み出したいと思います。

錦江駅前に建設された県営住宅

教育など

使用不能の原因は加治木小のプール

加治木小学校のプールは一夏使っただけで使用不能となった。原因は……。

修復されたプール

まだ陥没が続いており、原因はわかっていません。

いろいろな所から調査していますが、地層が地下で動いており、自然現象だろうと思います。

今、県を含め、安全を第一に処置していますので、もう少し待っていただきたいと思います。

「教育と文化の町」は内容が伴わないのでは

「教育と文化の町」と言われるが、スローガンだけが目につき、内容が伴っていないのでは……。

＊　＊　＊

加治木町は、教育の程度は高く人材も多い。これから、これを生かしてゆきたいと思います。

・椋鳩十記念館も、加治木にやかたを作り、加治木から児童文学を始めてゆきたいと考えます。

また、それぞれの学校としても特色のあるものを出していこうと取り組んでおり、更に進めてゆきたいと思います。教育と文化を育ててゆきたいと考えますので、お力添えをお願いします。

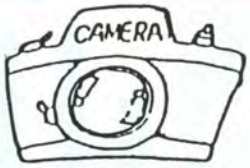
次回は、竜門西浦地区、竜門東元地区、城南地区で出された御意見の中から、主なものをお知らせします。

町長と語る会

「町長と語る会」地区別開催状況

参集地区	月日	会場	参加人員
木田第２地区	8月20日	木田自立自興館	38人
錦江第３地区	8月27日	豊町公民館	40人
木田第１地区	9月7日	飛竜閣	68人

※参加人員には，町関係者は含みません。



まちのわだい

すばらしい作品を鑑賞

●県内巡回秀作作品展（10月４日～13日）

各種の展示会で高い評価を得た県内在住の作家の秀作品を一堂に集めて「県内巡回秀作作品展」が，10月４日から13日まで，町福祉センターで開催されました。

会場には，日本画や工芸，書道など５部門・25点の作品が展示され，訪れた700人余りの目を楽しませました。また，10月８日と９日には絵画と書道の教室も開かれ，47人の受講者は，実技などに熱心に取り組んでいました。

「新しい校舎をありがとう」

●加治木小の３・６年生が作文を

「新しい校舎をありがとうございました。ぼくは，入った時にとてもうれしいでした」と，加治木小学校の３年生と６年生から，宇都宮町長にお礼の作文が届きました。

作文には「壁に書かれている龍門滝の絵を見た時から何だか楽しくなってきていました」「初めて新しい校舎に入った時は木のにおいがプンプンにおいました」などと新校舎の完成を喜ぶ気持ちが一杯あふれていました。

陶芸用の窯を設置

●福祉センターで火入れ式（10月４日）

福祉センターに陶芸用の窯が設置され10月４日，陶芸教室の川原輝夫講師によって火入れ式が行われました。

これは，町が昨年度から開講している社会教育学級・陶芸教室の受講生（１年生30人，２年生20人）に活用してもらおうと設置したもので，10月12日には２年生が，また，29日には１年生が初めての窯出しを行い，「すばらしい作品ができました」と大喜びしていました。

役場グラウンドに「楠の木」を植樹

●サンライフ運動10周年記念植樹（10月25日）

今年満10周年を迎えたサンライフ運動を“さらに積極的に取り組んでいこう”と，宇都宮町長やサンライフ運動を推進している町や県の関係者10人余りが10月25日，役場グラウンド北側に記念樹（楠の木）を植えました。

この日は，総務事務所長から“知事のメッセージ”が宇都宮町長に伝達された後，記念植樹が行われ，増田昌弘・美しい郷土づくり部会長が誓いの言葉を述べました。

まちのわだい

身近かなニュースや話題をお知らせ下さい。（☎62—2111）総務課文書係

「兵児さん道中」の踊りを披露

●柳田子ども会の5～6年生（10月2日）

柳田子ども会の5～6年生16人が10月2日，柁城小学校の運動会で「兵児さん道中」の踊りを披露しました。

この踊りは，昔の薩摩兵児（二才衆）がナゴサン（遊び？）に行く道中姿を，おもしろおかしく振り付けたもので，この日は，柳田長寿会の小野良光会長の指導を受け，練習を積んできた子供たちが，小太鼓と拍子木に合わせて軽妙な踊りを披露し，盛んな拍手を受けました。

“さばの竜田あげ”などに挑戦

●おじいちゃんの料理教室（10月13日）

66歳から79歳までの男性16人が参加して「おじいちゃんの料理教室」が10月13日,保健センターで行われました。

これは，町老人クラブ連合会が「男性にも料理に親しんでもらおう」と，保健センターの協力を得て開催したもので，向江町の鎌倉吉彦さんら参加者は「包丁が怖い」「難しい」と言いながらも“さばの竜田あげ”や“柿なます”などの料理に，熱心に取り組んでいました。

アサリの稚貝4トンを放流

●錦海漁協（10月17日）

錦海漁協（松田繁美組合長）では，福岡県豊前市の海岸で採捕された1.5キロ余りのアサリの稚貝4トンを10月17日，別府川河口や山野海岸など5か所に放流しました。

これは，毎年訪れる多くの潮干狩客に喜んでもらおうと，貝の繁殖期に当たる秋に放流しているもので，松田組合長は「1年置きのサイクルで不漁の年があり，順番からいくと来年は期待できそうですョ」と話されました。

ゲートゴルフで交流を深める

●町ふれ合いモデル地区交流大会（10月23日）

老人と子供のふれ合いを通して地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいる「ふれ合い事業モデル地区」の交流大会が10月23日，加治木小学校で行われました。

大会には，モデル地区に指定されている向江町，下新道，西反土・川原の3地区から120人余りが参加。ゲートゴルフやグラウンド・ゴルフを楽しみながら，また，全員一緒に昼食をとり，お互いの交流を深めました。

カメラ・ルポ

二・五トンのカライモを収穫

ふれ合い体験農業に二十一家族

町が募集した「ふれ合い体験農業」の参加者二十一家族・七十人が十月三十日楠原で収穫作業を行い、一家族平均九十キロ、総収量二・五トン余りのカライモを収穫し、大喜びでした。

「ふれ合い体験農業」は、農作業経験のない子供たちを主体に、親子で農作業を体験してもらうことにより、農業についての理解を深めてもらおうと、町経済課が実施したものです。

六月に楠原の山下喜之さんの畑一千平方㍍を借り受け、ベニアズマやコガネセンガンなど四種類の苗を植え付け、七月には親子で草取りを行いました。

収穫の日、子供たちはショベルを手に「こんな大きいイモがあった」と歓声を上げながら畑を掘り起こし、収穫の喜びを満喫していました。

また、経済課職員が、取ったばかりのイモをその場で焼きいもにして配ると、参加者は「おいしい」と口一杯にほおばり、秋の味覚を楽しんでいました。

口いっぱいに秋の香りが…

親子力を合わせて収穫

今年も元気で会えました

大正八年卒業生が同窓会

柁城小卒「大八会」

大正八年に柁城小学校・尋常科を卒業された「大八会」の三回目の同窓会が十月二十七日、町内の料理屋で行われ、集まった男性八人と女性十人は「今年も元気で会えましたネ」と昔話に花を咲かせていました。

「大八会」は、昭和二十八年に東京から帰郷された吉原の鳥梅（旧姓・上村）チカさんが、毎年一回〝女性だけの同窓会〟を続けていることを知った東京の漆間光治さんが、三年前に「一緒に…」と働きかけ、新たに男女合同で開催するようになったのが始まりで、鳥梅さんは「昔は男女別々のクラスで、一回目は六十七年ぶりの同席でした」と笑いながら話されました。

今年の同窓会には、東京の東常雄さんや千葉の今西時雄さんも駆け付け、加治木まんじゅうを前に、旧交を温めました。

長位鎌二郎さんが銀賞を獲得

全国身体障害者技能競技大会

日木山団地の長位鎌二郎さんが、十月十八日から二十一日まで千葉市で開催された「第十五回全国身体障害者技能競技大会・ワープロの部」で、見事〝銀賞〟を獲得されました。

長位さんは、二年ほど前梅木印刷所に入社。独学でワープロの技能を習得されており、県代表として参加した全国大会では各県から選ばれた二十四人と、〝早さ、正確さ、レイアウトの美しさ〟を競いました。

長位さんは「自分の技能のレベルを知りたくて参加しましたが、大変刺激になりました。来年は金賞を……」と、初の受賞の喜びを話されました。

長位鎌二郎さん

最優秀賞に市来聖子さん

県福祉作文コンクール

児童・生徒の福祉の心を培おうと、県が毎年募集している福祉作文コンクールの最優秀賞に柁城小学校の市来聖子さん（二年）の作品が選ばれました。

最優秀賞に輝いた市来聖子さんの作文『キンジスのお兄さん』は、おばあちゃんと一緒に病院へお見舞いに行った時の様子をつづったもので、思いやりの心がとても良く表われています。

また、加治木町からは、次のかたがたも入賞されました。

▽優秀賞　吉川珠弥（柁城三年）

▽佳作　肥後二海子（柁城三年）
山元智香子（柁城四年）
若松志保（柁城六年）

おめでとうございます。

内村靖夫チームが優勝

第一回町身障者グラウンドゴルフ大会

スポーツを通じて、身体障害者の社会参加を図ろうと「第一回町身体障害者グラウンド・ゴルフ大会」が十月十六日、町営運動場で開催されました。

大会には、身体障害者十人と一般のかたがた五十六人の六十六人が参加。一チーム六人で、十六ホールを回り、総合打数を競い合いました。

身体障害者のかたがたは「なかなか思う所に行かない」と言いながらも、秋晴れの下、一生懸命試合を楽しんでいました。

結果は、次のとおりです。

◎団体の部　優勝…内村靖夫チーム▽二位…萩原Aチーム▽三位…内村行男チーム

◎個人の部　優勝内村浩二▽二位内村義広▽三位川崎鉄男

◎ホールインワン賞…福元正治

しっかりねらって

県福祉作文コンクールの入賞者

Aクラス優勝の無邪気A

Aクラス無邪気A Bクラス柳田Aが優勝

ナイターグラウンド・ゴルフ大会

町体育指導委員会（竹下虎雄会長・委員十二人）主催の第一回ナイターグラウンド・ゴルフ大会が、十月二十一日から二十八日まで八日間の日程で町営運動場で開催されました。

大会には、二十チームが参加して、連夜熱戦が展開され、Aクラスでは無邪気Aチームが、また、Bクラスでは柳田Aチームが優勝しました。

結果は、次のとおりです。

■団体の部

◎Aクラス…優勝無邪気A▽二位無邪気B▽三位体育保健課A

◎Bクラス…優勝柳田A▽二位西塩入下B▽三位無邪気C

■ベストスコアー（個人の部）

◎Aクラス…優勝山下正男▽二位古里秀己▽三位原口昭治

◎Bクラス…優勝石原　忍▽二位向江　守▽三位宝蔵秋夫

■ホールインワン賞

原　森一（にしきえ）▽佐藤久枝（城南A）▽長重住義（下新道長寿会）▽内村久子（柳田C）

ホールインワン賞を獲得

Bクラス優勝の柳田

ベストスコアーを出した石原さんと山下さん

熱戦スポーツニュース

124チームが技を競う

義弘公奉賛弓道大会

第二十一回義弘公奉賛弓道大会は十月二十三日、町営弓道場と加治木中学校体育館を会場に行われ、百二十四チーム・三百八十一人が、日ごろ鍛えた技を競いました。

結果は、次のとおりです。

■団体の部

◎小・中学生（男子）

優勝…帖佐中D▽二位…重富中C

三位…重富中B

◎小・中学生（女子）

優勝…重富中A▽二位…重富中B

三位…重富中C

◎高校生（男子）

優勝…加治木高校D▽二位…加治木工業A▽三位…鹿児島工業A

◎高校生（女子）

優勝…加治木高校B▽二位…鹿児島南D▽三位…加治木高校A

◎一般

優勝…姶良A▽二位…田野弓友会

三位…綾弓友会

■個人の部（優勝者）

▼小・中学生（男子）…花田洋介（女子）…原口敏子▼高校生（男子）…野村徹平（女子）…平原恵▼一般（男子）…岩切国雄（女子）…塩井幸子

精神を集中して

より速く（小学校陸上記録会）

竜門子ども会が栄冠

さわやか少年ソフトボール大会

十一回目を迎えた「さわやか少年ソフトボール大会」は十月十四日、十チームが参加して加治木中学校グラウンドで行われました。

これは、ソフトボールを通じて子ども会どおしの交流を図り、また、異年齢集団の中で助け合う心を培おうと、町子ども会育成連絡協議会が南九州コカ・コーラボトリング㈱や、町ソフトボール協会の協力を得て、毎年開催しているものです。

大会では、秋空の下、小・中学生と高校生が、一緒に力を合わせて熱戦を展開しました。

結果は、次のとおりです。

優勝…竜門子ども会

二位…城南子ども会

三位…萩原・札立子ども会

永原子ども会

熱戦を展開

四百㍍リレーで新記録

小学校陸上記録会

小学校陸上記録会は十月二十五日、加治木小学校で行われ、五・六年生が八種目に挑戦しました。

新記録・タイ記録は、次のとおりです。

〔新記録〕五年女子四百㍍リレー

犬童陽子、末永仁子、山元みはる

坂元理恵（加治木小）1分2秒4

〔タイ記録〕

六年女子六十㍍ハードル

西木場美幸（加治木小）10秒5

Aクラス優勝の加治木クラブ

Aクラス・加治木クラブ Bクラス・コアラーズ が優勝

秋期婦人ナイターバレーボール大会

秋期婦人ナイターバレーボール大会は、Aクラス六チーム、Bクラス五チームの十一チームが参加して、十月十二日から十九日まで、町営体育館で開催されました。

結果は、次のとおりです。

◎Aクラス

優勝…加治木クラブ▽二位…柁城▽三位…ヒローズ

◎Bクラス

優勝…コアラーズ▽二位…加治木産業▽三位…ハッピーコスモ

Bクラス優勝のコアラーズ

127世帯に記念品を贈呈

国民健康保険無受診世帯

国民健康保険税を期限内に完納され、また、日ごろから健康づくりに努められている〝国民健康保険無受診世帯〟百二十七世帯（百七十二人）に十月三十一日、宇都宮町長から記念品が贈られました。

この日は、保健センターで、健康相談や映画が行われた後、代表の土橋習一さん（東諏訪）に宇都宮町長が「食生活に注意して、健康で長生きして下さい」と記念品を手渡しました。

加治木町の国民健康保険加入世帯数は、九月末日現在で三千六百二十七世帯となっています。

記念品を受ける土橋習一さん

さつま狂句

▼兼題『返事』　榊牛尾先生選

天　見合ん座で軽り返事したが
　　運の悪いさ　　満尾仙女

唱　顔い惚れたが
　　間違ごわした

地　ぬり女房あハイハイ返事で
　　急ちせじ　　小野豆風

唱　女は尻が
　　重びごわんでな

人　「コラ」言えば「ナイ」ち
　　この頃ら返事じゅ吐えっ
　　鮫島四男坊

唱　昔しゃやさしか
　　返事ずしごったて

▼席題『小屋』　榊牛尾先生選

天　俺や隠居小屋でよかちゅっ
　　脇曲げっ　　長重住義

唱　ひねくれ根性は
　　嫌われもんど

地　犬気狂げ人が住もそな
　　小屋作つ　　越牟田七重

唱　女房よっか
　　犬が良かたろ

人　兎小屋言てんやっぱい
　　マイホーム　　小野豆風

唱　此処が家内中ん
　　楽園じゃんで

（社会教育学級生の作品）

竜門句会

手折りきし芒を活けて良夜とす　恒吉　斗南
大あくび移されて夜なべ仕舞とす　川崎　黒兎
起重機の吊し上げたる望の月　高木　正男
渓谷の天狭けれど秋の雲　三浦　ゆう
秋霖や話題果てなく夜を刻む　竹山　洋子
山裾の稲田一枚づつ翳る　加藤　白柳
一病のにはかの冷えを恐れけり　古江　重美
白壁の収蔵庫に添ふ柿紅葉　柳田　稔
畦道に車のり捨て稗抜ける　佐々木かすみ
夏負けとおのれを庇ふ残暑日日　鶴田　耕
川底の藻のゆれやまず水澄めり　内田美津代

日曜在宅のお医者さん　12月

		☎
4日	鬼丸小児科	62-0308
11日	加治木温泉病院	62-0001
18日	壱岐医院	62-2222
25日	池田医院	62-2220

薬草　知られざる効き目　62

サネカズラ

関東以西・沖縄・南朝鮮に分布、林中に自生するモクレン科のつる性常緑木本で雌雄異株、時に同株。

夏ごろ今年のびた枝の葉えきに淡黄色の花が下向きに咲き、えき果は小球形の花床につき、秋になると花床と共に紅熟する。

紅熟した果実を採取、からからになるまで日干しにします。生薬名は南五味子といいます。

乾燥した実を六～七グラムをせんじて一日三回に分服すると咳を止め、痰の出をよくし、胃腸を丈夫にし、喘息にも効がある、といわれます。また、滋養強壮にもなるそうです。

濃ゆくせんじて、ただれ目に点眼してもよいそうです。

新鮮な葉の汁は、切り傷にも効き目があり、農山村の人たちは今でも使っております。

つるを細かく刻み、倍量の水を入れてかきまわし、しばらくおくとどろどろの粘りがでてくる。これをひび・あかぎれに塗るとよい。

この粘液を髪油の代用として使ってみてください。

昔、武士が整髪用に用いたので「美男葛」の名がつけられた。今様ヘアトニックということでしょう。

鹿児島では「フノイカズラ」といっております。

赤く熟した実を花床からちぎり、すぐしょうちゅうにつけます。三か月ほどで、目の覚めるような深紅の薬酒ができあがります。昔から強壮強精に重用されています。

葉がくれに
現れし実のさねかずら　虚子

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮下さい。

おしらせ

1988 11

秋の全国火災予防運動

11月26日～12月2日

寒さに向かうこの時期、暖かさが恋しい季節ですね。

でも、この時期はまた、火災の多くなるシーズンでもあります。

県内では、特に〝天ぷら鍋〟による火災が多く発生しています。

対応を一歩誤ると被害を一層拡大させることになります。

火の取り扱いには十分注意をしましょう。

十一月二十六日から十二月二日まで、秋の全国火災予防運動が行われます。

＝毎月十五日は〝防火の日〟＝家庭内の安全チェックにつとめましょう。

火の用心7つのポイント

1．寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
2．子供はマッチやライターで遊ばせない。
3．風の強い時はたき火をしない。
4．天ぷらを揚げる時は、その場を離れない。
5．家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6．風呂の空だきをしない。
7．ストーブには燃えやすいものを近づけない。

竜門司焼〝陶器祭り〟

12月3日(土)～4日(日)

竜門司焼企業組合では、今年も〝陶器祭り〟を開催します。

多数のかたがたの御来場をお待ちしています。

日　時■12月3日（土）から12月4日（日）まで
午前八時三十分から
午後五時までです。

場　所■加治木町小山田（茶碗屋）
竜門司焼企業組合工場内
（☎六二―二五四九）

必ず納めよう保険料

11月は「国民年金制度推進月間」

Q　若いうちは国民年金の保険料は、納めなくてもいい？

A　間違いです。国民年金に加入し保険料を納付することは、国民の義務です。

保険料を納めあなた自身の安心できる〝老後の生活〟に備えましょう。

その時になって後悔しないためにも、この機会にあなたの保険料納付状況を確認してみましょう。

御相談は、住民課・国民年金係の窓口へどうぞ……。

（電話　六二―二一一一）

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は固く守られます。

宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七-二B-十四
（☎63 3787）

中摩多美子　反土二七五六
（☎62 2768）

岡山秀樹
錦江町二五三番地二
（☎63 2878）

うぶ声

出生児　保護者　自治会

蓬原　一雄　安文　菖蒲谷
川口　貴司　経廣　上浜
室屋　泰輔　速巳　空港団地
戎　麻里　和敏　萩原
橋本　樹里　博文　萩原
荒瀬　悠介　正　赤坂
二階　真澄　正明　上木田
馬渡奈央子　義春　柳田

徳丸　裕士　治久　蔵王団地
桃木野眞広　修　桃木野
花牟禮　聡　勇二　赤坂
南　直人　紳一郎　原ノ門
坂本　美樹　睦雄　西ノ原
丸野　瑞貴　信幸　中央
奥　慎太郎　貴文　岩原西
内村　美希　光明　赤坂
山元　雄太　秀守　内原田
植松　祐治　孝治　札立
島崎七穂子　仁二　赤坂

▽十月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　長谷　冨永時義（妻　ノブ八〇）
三万円　西ノ原　坂元ハナエ（夫　厚志七一）
二万円　南塩入　黒木芳子（夫　隆雄五四）
五万円　向江町　大迫　勉（母　瑞枝六五）
五万円　上浜　吉田ノブ子（夫　通博五三）
三万円　下嶽　山口秋雄（母　ツマ七九）
三万円　下浜　城　フミ（夫　重義七四）
三万円　伊部野　日高道寛（父　盛二八六）
三万円　川内　川内輝代（夫　優　五三）
十万円　向江町　竹下富三（母　ヨシ九〇）
二万円　菖蒲谷　鶴　幸子（義母　ヨシ八六）
三万円　岩原西　簗瀬　彰（母　シヅ八五）
二万円　提水流　西森春美（妻アイ子六〇）
五万円　西反土前　新添勝久（母ハル子七六）
五万円　東塩入　寺師和子（夫　清彦六七）
二万円　布越　畠中　博（母　トヨ八三）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　向江町　大迫　勉（母　瑞枝六五）
一万円　提水流　西森春美（妻アイ子六〇）

▽十月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）